



iwork-pro.jp

# アイ・ワーク News

iwork News Vol.16

クリックして  
Webサイトへ  
アクセス

新しいメンバーが  
ひとり  
増えました!



“髭の似合う40代に憧れる”  
ディレクター 元永  
N.MOTONAGA

# 変 化 の 挑 戦

皆様、どうもチャレンジャー元永です。  
暑い日が続いておりますがいかが  
お過ごしでしょうか。  
私の昔からのリフレッシュ方法として  
「サウナ」に通っているのですが、今回は  
そんなサウナ通いで得た気づきをご紹介  
しようと思います。

私がよく通うのは、京都市は右京区にある  
とある銭湯です。かれこれ大学生だった頃から  
時間があればよく利用してきました。疲れたとき、  
悩んでいるとき、ここの銭湯のサウナに入ると  
心身ともにリフレッシュされます。

地元の人の利用も多く、私が行くと大体いる  
おっちゃんもいます。そんなおっちゃんと喋ったり  
することは私の癒しでもあります。

そんなおっちゃんの一人、通称「やまもっさん」とは  
仲良くさせてもらっていて、会うとジュースを奢ってくれ  
たりする関係です。

やまもっさんは70歳手前位の元大工さんらしく、私に  
いつも「男ならこうあるべきや」などといった昭和世代の  
親父風の考えを教示してくる、そんな方です。昨今の  
サウナブームにも思うところがあるらしく、サウナハットを  
かぶった若者を見た際には「あんなもんサウナ入るのに  
必要ない。手ぬぐい頭巻いといたらええねん」とぼやいて  
ました。私も「あんなもん絶対いらんですよー」などと同調し、  
サウナハットボーイを少し揶揄していました。

そんなとある日、事件が起きました。いつものように銭湯に  
行きサウナに入ると、サウナハットをかぶったやまもっさんが  
いるのです!私は目を疑いました。あんなに非難していた  
サウナハットをやまもっさんがかぶるはずがない。別人の  
おっちゃんかな?と思い、動揺する私に、やまもっさんが  
声をかけてきて、にっこりとういきました。「これ孫に  
もらってん。ええやろ?」と。私は一瞬「この裏切り者!」  
と言いかけてましたが、そもそも何で私はかぶったこと  
もないサウナハットを否定していたんだろう。実際  
にかぶって気に入っているやまもっさんを私は否定  
できない、むしろ考えを変えて新しいものに挑戦  
したやまもっさんを賞賛するべきではないかと。  
そのあと何を喋ったかは記憶にないですが、  
やまもっさんを裏切り者扱いにしようとした  
自分が妙に恥ずかしく、水風呂に顔をしばらく  
うずめていたことはよく覚えています。

これまで生きてきた中で、自分なりの  
考え方・価値観は当然あります。しかし、  
未知のものに対してはそれを大して理解  
することもなく否定してしまう、そんな  
自分に気づいたできごとでした。

これからは変化することを恐れず、  
未知なるものにも理解を示すよう  
日々精進したいと思います。

※まずはサウナハットを買いに  
いきます。

Challenge to change

# テーマ：夏!!!!!!

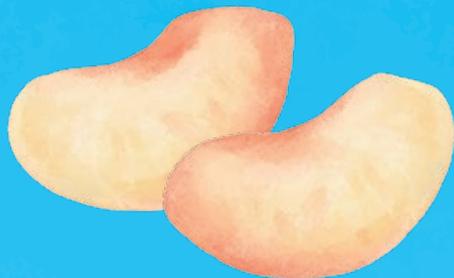


夏真っ盛りの8月、皆さま体調など崩されていないでしょうか？  
私は暑さが大の苦手ですが元気です。  
先日もうとう髪を乾かす時の暑さに耐えかねて、朝起きると同時に「そうだ髪、切ろう」と美容院に行きました。「そうだ京都、行こう」のノリで(笑)。  
さて、今回は私が感じる「夏」をテーマにお話したいと思います。

私が感じる「夏」、それは「桃」「素麺」「セミ」です。

私の地元の和歌山は、蜜柑や梅だけでなく桃も有名です。  
実家にいた頃は夏になると桃を箱買いするので、いつも食卓にのぼります。  
甘くて美味しいので、気づけば1個、2個はペロリと完食。  
採れる場所や種類によってももちろん味が違うので、食べ比べをしていたらお腹いっぱいになって「もう、晚ごはんこれでいいや…。」なんてことも。  
実家にいるからできる贅沢だなあと、大人になった今は思います(笑)。

食べ物シリーズで言えば、素麺も私の中では「ザ! 夏っ!!」という食べ物です。  
小学生の頃、夏休み前の給食がない午前中までの日のお昼ごはんは高確率で素麺でした。  
わが家の麺つゆは、乾燥シイタケで出汁を取った祖母のお手製。  
市販の麺つゆを使う時が逆に新鮮でした。  
今年は実家から大量に素麺が送られてきて、  
しかも種類も違うので食べ比べ大会を開いてる状態です(笑)。  
でも、そろそろ普通に食べるのは飽きてきたので、素麺のアレンジレシピを探す日々です。  
レシピのレパートリーを増やしつつ、この夏を乗り切りたいと思います。



最後は「セミ」です。  
夏の始まりを感じるセミの鳴き声。  
あの声が聞こえ始めたら「今年も夏が来たなあ」と思います。  
私の実家の周りは桜並木があったので、夏はセミの大合唱です。  
あれはもう騒音でした(笑)。  
そして、ツクツクボウシの鳴き声が聞こえ始めたら「ああ、夏も終わりだなあ」と感じます。  
まあ、暑さはまだまだ続くんですけどね!

毎年のように最高気温が更新される夏。  
皆さま、水分をしっかり摂って、美味しいもの食べて元気お過ごしください。

滋賀と自宅をこよなく愛する  
デザイナー 野原  
A.NOHARA

